

## 自分自身の線量計による測定値 2

福島県立医大神経内科学講座 教授 宇川義一

前回の報告以来、国内の移動だけでしたが、この一ヶ月（7月）の測定値を報告します。前回は申し上げた通り、この値が出たから福島が安全と言いたい訳ではなく、1つの参考値とお考え下さい。

一つ目として、ローマでの線量が高い事の原因を前回述べたが、その後長崎大学の山下先生とお話する機会があり、ローマの件をお聞きしたところ、ローマで線量が高い事はよく知られている事実で、その理由の主なものは大理石にあると言うことでした。大理石の中に昔の鉱物などが含まれているために、大理石を使用して建築物があるローマでは、もともと被曝線量が高いようです。私の無知が公表されたようなもので失礼しました。この点の訂正をお願いします。

この一ヶ月では、国内のフライトが3回ありましたが、国内フライトは高度がそれほど上がらない事や上がっても高い所にいる時間が短い事から、一回のフライトで1から2マイクロシーベルト外部被曝を受ける位です。国際線と違い、一番高い所でも、1.7マイクロシーベルト/時間くらいでした。この状況に30分もいないですぐ降下するので、国際線ほどの影響がないと言う事でしょう。先月報告した様に、高い所に長く居る国際線のフライトでは、一回のフライトで20から30マイクロシーベルトの線量を受けるようです。

この間、箱根、大阪、鹿児島、福岡と行きましたが、町での線量は東京などとほとんど変わりませんでした。外の環境で0.1から0.15 uS/hr 位で、家の中で0.1以下という感じでした。一日の積算の線量は大きく変わらないと判断しました。

私一人が歩いた範囲での事ですので、あくまでも参考までのデータです。

また、内部被曝に関しては自分自身のデータはなく、これに関するご心配が皆様にあるのはもっともな事と考えます。

# マイクロシーベルト/日

